在宅人工呼吸器使用者のための

災害時個別支援計画

【出雲圏域】

お 名 前：

住　　所：

電話番号：

|  |  |
| --- | --- |
| 作成担当者 | 事業所名氏　　名 |
| 作　成　日 | 　　　　　　　　　年　　　　月　　　　日 |
| 更　新　日 | 　　　　　　　　　年　　　　月　　　　日 |
| 　　　　　　　　　年　　　　月　　　　日 |
| 　　　　　　　　　年　　　　月　　　　日 |

***１　災害時に備えて準備しておくもの***

まとめられる物はひとまとめにしてベッド近くに置いておきましょう。

　　　　この他、非常用食品や衣類なども一緒に準備しておきましょう。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 品目 | 個数 | 置いてある場所 |
| 　蘇生バッグ |  |  |
| 　外部バッテリー |  |  |
| 　予備の呼吸器回路 |  |  |
| 　予備の吸引器 |  |  |
| 　予備の吸引チューブ |  |  |
| 　グローブ |  |  |
| 　アルコール綿 |  |  |
| 　蒸留水 |  |  |
| 　栄養剤（　　　　　　　　） |  |  |
| 　薬 |  |  |
| 　懐中電灯 |  |  |
| 　乾電池 |  |  |
| 　発電機と使用燃料 |  |  |
| 　延長コード |  |  |
| 　ラジオ |  |  |
|  |  |  |

***＊　自宅付近のハザード　（想定される被害を○で囲みましょう）***

* 洪水　高潮　土砂災害　地震　その他（　　　　　）

***＊　要援護者登録　（あてはまるものを○で囲みましょう）***

　登録　：　済　未（　登録予定　年　月、　登録しない）

***＊　出雲市消防・中国電力への情報提供（あてはまるものを○で囲みましょう）***

　　出雲市消防： 済　未（　登録予定　年　月、登録しない）

　　中国電力：済　未（　登録予定　年　月、登録しない）

***１　災害時に備えて準備しておくもの***

**作成の手引き**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 品目 | 必要性・使用法 | 留意点 |
| 蘇生バッグ | 停電による呼吸停止時に、手動で呼吸を確保する道具 | 手の届く定位置にすぐ使える状態にしておく。緊急時に複数の人が使用できるよう、日頃から練習しておく。 |
| 外部バッテリー | 停電時の電源。①常に人工呼吸器につないでおくタイプと、②停電時につなぐタイプがある。 | ②のタイプの注意点は、◆つなぎ方を練習しておく　◆月１回は充電する　◆バッテリーが劣化するため２年ぐらいを目安に交換する。 |
| 予備の呼吸器回路 | 災害時の影響による破損、新しい回路の供給ができなくなる恐れがある。 | 一式は準備しておく。 |
| 予備の吸引器 | 充電式や足踏み式の物を用意 | 充電式は常に充電し、バッテリーを２年ぐらいを目安に交換する。 |
| 予備の吸引チューブグローブ、アルコール綿、蒸留水 | 平常時の吸引回数を考慮し、７日分以上の量を準備する。 |  |
| 栄養剤、薬 | ７日以上の量を準備し、最新版の処方箋のコピーも入れておく。 | 薬や滅菌物は使用期限があるため、定期的に確認し、確認した日付を記載する。 |
| 懐中電灯、乾電池 | 介護用にはランタン型やヘッドランプ型が便利 | 懐中電灯やラジオ等の種類に応じた電池を大目に準備しておく。 |
| 発電機と使用燃料 | 発電機を直接人工呼吸器に繋ぎ作動させることは推奨されていません。ガソリンは携行缶にできるだけ満タンに入れ、冷暗所に保管 | 発電機作動中は一酸化炭素中毒の危険があるので、必ず屋外で使用する。ガソリンは半年以内を目標に使い切ることが望ましい。個人で所有できる量に制限があるので消防に確認のこと。 |
| 延長コード | 自家用車や発電機から電気をとる場合や避難所等で使用するため。 |  |
| ラジオ | 伝知識や手回し式を準備 | 携帯電話のワンセグも活用可 |

***＊　自宅近くのハザード***

　　自宅近くの防災マップ、ハザードマップを確認して起こりうる災害の危険性を調べ、起こりうるものに○をつける。その他のハザードが考えられる場合は、（　）内に具体的に記載する。

***＊　要援護者登録***

　　出雲市に災害時要援護者登録を行うと、災害時の避難支援等の行政の支援を受けられる。

***２　停電***

◆人工呼吸器の電源　　＊外部バッテリーによる作動確認

内部バッテリー作動時間　　　外部バッテリー作動時間　　　　合計

　時間

時間

　時間

　　　　　　　　　　　　　　＋　　　　　　　　　　　　　＝

◆酸素濃縮度　：　酸素ボンベの切り替え

酸素ボンベ１本消費時間　　　　　　　　　　　時間

足踏み式吸引器(電源

不要)も検討しま

しょう。

◆充電式吸引器

分

　　充電式吸引器の連続使用時間

◆県の在宅障がい者のための非常用電源確保事業も利用できます。

　　・事前登録が必要ですが、済ませましたか？

◆中国電力に登録しておきましょう。

**「あっ　停電！」その時にまず確認すること！**

１　ブレーカーの確認

　〇ブレーカーが落ちていたら、ブレーカーを上げましょう

　〇ブレーカーではなかった場合は、下記へ連絡して停電の確認をしましょう

　　中国電力ネットワーク出雲ネットワークセンター

TEL：０１２０－３１１－９５７

２　停電情報の確認

中国電力ネットワークのホームページで停電情報を掲載します。

http://www.teideninfo.energia.co.jp/

＊事前に登録をしておきましょう。



***２　停電***

**作成の手引き**

災害時に迅速に対応するためには、どのような時にどのような行動をとるのか決めておく必要があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 事前に準備しておくこと | 停電になったら以下の順で行動する |
| 人工呼吸器 | 外部バッテリーの接続が必要な人工呼吸器化確認する。 | １人工呼吸器の電源が外部バッテリーで作動しているか確認する。２外部バッテリーの接続が必要な機種は接続する。 |
| バッテリーの作動時間 | 外部バッテリー・内部バッテリーの作動時間、合計を枠内に記入する。 |  |
| 酸素使用者 | 酸素ボンベ１本の消費時間の目安を枠内に記入する。 | ３酸素濃縮器を酸素ボンベに切り替える。 |
| 充電式吸引器 | 連続使用時間を枠内に記入する。 | ４充電式吸引器や足踏み式吸引器等を準備する。　充電式の物は頻回に使用すると充電が切れるので、足踏み式吸引器等非電源式の吸引器の準備も必要。 |

**以上の準備ができたら**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 事前に準備しておくこと | 停電になったら以下の順で行動する |
| 停電情報 | 中国電力ホームページの災害情報がすぐに検索できるよう事前に携帯電話やパソコンに登録しておく。事前に中国電力に登録しておくと、地域限局的な停電等について、個別に連絡が来る。 | １ブレーカーを確認する。２ブレーカーが落ちていない場合は、停電の確認をする。1. 夜の場合は周辺の家屋の停電状況を確認
2. 中国電力カスタマーセンターに問い合わせ、停電状況を確認
3. 電話がつながらない場合は、中国電力ホームページの停電情報で確認
 |

◆島根県の「在宅障がい者のための非常用電源確保事業」が利用できます。

　　・事前登録は、出雲市福祉推進課自立支援給付係へ

　　・外部バッテリーを充電するタイプであり、予備バッテリーが必要

***３　停電が長引きそうな場合***

◆**電源の確保**･･･□にチェックし、アンペア数を記入する

* 車のシガーライターケーブル（　　　A）

・人工呼吸器（　　　A）　　　　　・バッテリー（　　　A）

・その他　　（　　　A）

* 発電機（　　　A）

・バッテリー（　　　A）　　　　　・吸引器（　　　A）

・酸素濃縮器（　　　A）　　　　　・その他（　　　A）

* 自家発電機設備のあるところ：バッテリー充電

　　施 設 名

　　住　　所

　　電話番号

◆**その他の対処**･･･必要な項目の□にチェックし、該当に○をする。

* 電池利用機器への切り替え

・低圧持続吸引器　　　　　　　　・パルスオキシメーター

・その他（　　　　　　　　　　　　　）

* エアマット
* 人工呼吸器の加温加湿器

　　・人工鼻の使用　　　　　　　　　・加温加湿器へお湯の追加

◆**入院する**

　受け入れ予定医療機関名

　　　　　　　連　絡　先

　　　　　　　　　予定先への入院が困難な場合の調整連絡先

**作成の手引き**

***３　停電が長引きそうな場合には、さらに対応が必要***

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 事前に準備しておくこと | 長引きそうな場合の対応 |
| １電源の確保 | 停電が長引くと、バッテリーだけでは足りなくなるので、住宅事情などを考慮してあらかじめ電源を確保しておく。 | チェックした項目の電源を使用する。 |
|  | 車のシガーライターケーブル | 人工呼吸器取扱事業者が販売する専用のケーブル、又はシガーライターケーブル付きインバーター（正弦波に変換でき人工呼吸器などの精密機器につなげられるタイプ）を準備 | 必ずエンジンを駆動させてからつなぐ。 |
| 発電機 | 人工呼吸器とつなぐことは推奨されていない。使用を考える際には、必ず主治医と人工呼吸器取扱業者に確認する。　 | 外部バッテリー等の充電用に使う。必ず屋外で使う。 |
| 自家発電設備のあるところ | バッテリー類の充電ができるよう、自宅近くで自家発電設備があるところを確認し、施設名、住所、連絡先を記入しておく。 | 外部バッテリーの充電が必要となった場合には、施設に早めに行く。 |
| 非常用発電機の貸し出し | 「在宅障がい者のための非常用電源確保事業」が利用可能であり、事前登録が必要。 | 原則市役所に貸し出し申込み |
| 電源につなぐ機器（電源から供給できる電力には限りがある） | 1. 使用機器のアンペア数を確認し、カッコ内に記入する。
2. 使用機器のアンペア数が電源のアンペア数を越えないように接続する機器を決める。

機器が動き出すときは表記された容量の２～３倍の電力を必要とすることを考慮すること。 | あらかじめ○で囲んだ機器を電源につなぐ。 |
| ２その他の対処 | 対処が必要な項目や機器を事前に検討し、必要な項目にチェックをし、機器に○をする。 | チェックした項目の○で囲んだ機器に対処する。 |
|  | 電池利用機器への切り替え | 対処する機器は○で囲む。 | ○で囲んだ機器を電池利用に切り替える。 |
|  | エアマット | 長時間停電では空気が抜けてしまうものがあるので確認しておく。 | 空気が抜けてしまう場合は、空気を送り込むチューブのやわらかい部分を折り、紐で縛る等、空気が抜けない対策をとる。 |
|  | 人工呼吸器の加温加湿器 | 代替方法（人工鼻、ぬるま湯を入れる）を主治医と相談し、対処方法を○で囲み、使用方法を習得しておく。 | ○をつけた対処をする。 |
| ３入院する | 備えがあっても電力確保が難しい、病状が不安定という場合には入院が必要となる。事前に災害時の緊急入院先を定め、いざという時にすぐ連絡できるよう連絡先を書いておく。入院調整が必要な場合には、どの機関が行うか決め枠内に記入する。 | 記載してある入院先に連絡し、入院相談をする。 |

***４　地震***

**□患者さんは大丈夫ですか？**

◆患者さんの周辺に落下物はありませんか。または、落下の恐れはありませんか。

◆停電すると動かなくなるので、ギャッジベッドを下げておきます。

**□人工呼吸器は正常に作動していますか？**

□人工呼吸器に破損はないか。作動しているか。

□異常な音、臭いは出ていないか。

□呼吸回路の各接続部にゆるみはないか。

□回路は破損していないか。

□設定値が変わっていないか。

**＊アラームが鳴っていなくても必ず確認のこと**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Yes

＊人工呼吸器が正常に

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　作動している場合

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　～電気・水道確認～

　　　　　　　　　　　No！　　　　　　　　　　　　***２　停電***電確認！

**＊人工呼吸器が正常に作動していない場合**

　　１　蘇生バッグによる呼吸を開始

％

　　　　　パルスオキシメーター確認　通常のSpO2

　　２　連絡する

【連絡先】

主治医　　　　　　　　　　　　　　　　　　℡

人工呼吸器取扱業者　　　　　　　　　　　　℡

□近隣に助けを求める

□安全な場所へ避難

＊可能であれば「持ち出しセット」持参

**□近隣で　火災！**

**□安否の確認を入れる　利用方法を確認しておく**

□１７１伝言ダイヤルへ録音

□携帯災害用伝言板（登録者：関係者リスト参照）

□電話連絡先　　　　　　　　　　　℡

□メール連絡先　　　　　　　　　　ｱﾄﾞﾚｽ

**□安否確認者　　関係者リストの◎の人が安否確認をします。**

**作成の手引き**

***４　地震***

**＊倒壊や二次災害の危険がなければ、自宅で安否確認者を待つ。**

**◆地震に備えて、日常から準備しておくこと**

１　環境整備：患者さんの周囲に転倒・落下してくる物がないよう整える。

２　主治医や人工呼吸器取扱事業者の連絡先などを枠内に記入しておく。

３　パルスオキシメーターで通常の酸素飽和度（SpO2）を測定し、枠内に記載しておく。

４　安否の連絡方法をあらかじめ決めて、利用する方法の□にチェックする。これらはあらかじめシミュレーションを行い、関係者で確認しておく。

５　安否確認者は、関係者リストに◎をつけておく。

**◆地震発生時の対応**

安全確保

１　地震発生時に患者の周囲に転倒・落下してくる物がないか確認し、電動ベッドがギャッジアップされている場合は、安全な位置に下げる。

２　揺れがおさまったら、患者に問題は生じていないか確認する。

人工呼吸器の作動確認　次に人工呼吸器の作動を以下の点で確認し、□をチェック

１　人工呼吸器に破損はないか。作動しているか。

２　異常な音、臭いは出ていないか。(外見の変化がなくても内部破損もありうる。音や臭いで確認)

３　呼吸回路の各接続部にゆるみはないか。

４　回路は破損していないか。

５　設定値が変わっていないか。

→　**正常に作動していない場合、蘇生バッグによる呼吸に切り替える**。

　　蘇生バッグは日常のSpO2値を参考に使用する。

　　その上で、主治医や人工呼吸器取扱事業者に連絡する。

**＊アラームが鳴っていなくても必ず確認のこと**

**＊停電の場合は、停電のページに沿って確認を続ける。**

近隣で火災

１　地震の後には火災が発生する危険があるので、出雲市からの防災無線等からの放送に注意する。

２　近隣で火災が発生した場合は、枠内の対応を参考に速やかに非難する。

３　避難後には、必ず関係者に避難したことや避難先を連絡する。

安否の連絡

１　安全や機器の準備などの確保ができたら、安否の状態を人工呼吸器使用者・家族から発信する。

２　安否確認者（関係者リストの◎）と、家族からの連絡先が異なる場合は調整すること。

***５　風水害（洪水・高潮・土砂災害等）***

**◆台風、大雨などで風水害が予想される場合**

県や市からの防災情報が得られるようにしておきましょう。

※下記アドレスまたはQRコードから空メールを送信し、登録を行ってください。

□しまね防災メール　　　　　　　□出雲市からの防災情報
 register@bousai-shimane.jp　　　　　　　m-izumo@xpressmail.jp





**「避難準備情報」が発令されたら**

**避難してください**。

だれ　　　　　　　　　　　　　　　℡　　　　　　　　　　　　に連絡して

移送手段　　　　　　　　　　　　　℡　　　　　　　　　　　　によって

避難先　　　　　　　　　　　　　　℡　　　　　　　　　　　　に！！

（避難先住所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**◆避難時持ち出しセット**

**日ごろから持ち出し用リストを作成しておきましょう。**

＊持ち出すときは、準備した項目の□にチェックをしていきましょう。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □人工呼吸器 | □外部バッテリー | □呼吸器回路 |
| □人工鼻（加温・加湿器） | □蘇生バッグ | □吸引器 |
| □吸引チューブ | □注入用栄養剤 | □蒸留水 |
| □経管栄養セット | □延長コード | □保険証 |
| □薬 | □アルコール綿 | □ |
| □ | □ | □ |
| □ | □ | □ |

***５　風水害（洪水・高潮・土砂災害等）***

**作成の手引き**

**＊台風や集中豪雨による洪水、高潮、土砂災害等に備えて準備する。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 事前に準備し記入しておくこと | 風水害が予想される場合の対応 |
| 情報の把握 | ・避難のための情報を入手する手段を確認しておく。　しまね防災メールや出雲市災害情報無線など。・情報を得るのに登録が必要な場合は登録をする。 | ・台風、大雨等の情報に注意する。 |
| 避難方法 | ・避難することを連絡する先、移送手段、避難場所を決め、記入する。・避難する際に持参する物品リストを作成する。・不要な項目を消し、必要な項目は追加する。 | ・出雲市から「避難準備情報」が発令されたら避難する。1. 記入した支援者に連絡する。
2. 決めておいた移送手段に連絡する。
3. 避難時の持ち出しセットの□をチェックする。
4. 決めておいた避難場所に避難する。
 |

**＊外出機会があれば、避難想定先を目的地とすると、避難訓練にもなる。**

***６　関係者等連絡リスト***

平成　　　年　　　月　　　日作成

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 安否確認する人◎ | 災害用伝言板登録 | 区分 | 担当者氏名 | 所属 | 電話番号 |
|  |  | かかりつけ医 |  |  |  |
|  |  | 専門医 |  |  |  |
|  |  | 訪問看護ステーション |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  | ケアマネジャー |  |  |  |
|  |  | 訪問介護事業所 |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  | 近隣者・地域の協力者 |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  | 難病相談支援センター |  |  | ２４－８５１０ |
|  |  | 出雲保健所 |  |  | ２１－１１９１ |
|  |  | 避難所 | 名称 |  |

**◆安否確認の流れ**

災害対応担当部署

(だれ)

(連絡方法)

把握集約機関

(だれ)

(連絡方法)

安否確認する人◎

(だれ)

(連絡方法)

**◆医療機器取扱事業者リスト**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 担当者 | 所属 | 電話番号 |
| 人工呼吸器（機種：　　　　　　　） |  |  |  |
| 酸素濃縮器（機種：　　　　　　　） |  |  |  |
| 吸引器（機種：　　　　　　　　　） |  |  |  |
|  |  |  |  |

**◆家族・親族リスト**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 災害用伝言板登録◎ | 氏名 | 続柄 | 住所または職場 | 電話番号 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

***６　関係者等連絡リスト***

**作成の手引き**

**◆関係者連絡リスト**

１　関係者の名称、担当者、連絡先の一覧を作成する。

２　「安否確認する人」欄には、発災時に患者の安否確認をする人を決めて、◎をつける。

３　「災害用伝言板登録」欄には、災害用伝言の登録先を決めて、登録した機関や関係者に◎をつける。

**◆安否確認の流れ**

　　安否確認した情報をどのように伝えるか、記入する。

**◆医療機器取扱事業者リスト**

　　人工呼吸器、酸素濃縮度、吸引器等の医療機器取扱事業者の連絡先を聞く。

**◆地震に備えて、日常から準備しておくこと**

１　家族・親族について記載する。

２　「災害用伝言板登録」欄には、災害用伝言板の登録先になっている場合に◎をつける。

　　**＊これらの情報は変動するので、確認した日を右上に記入する。**

***７　緊急時等受療シート***

＊＊この部分は、別途訪問看護ステーションを中心に作成しています。

　　担当訪問看護ステーションが作成された「緊急時受療シート」を入手し、一体のものとしてください。

　＊以下にこのシートの項目を示します。

　　なお、この「緊急時等受療シート」の作成対象は、医療的ケアを必要とする在宅療養患者としています。

　　・基本情報

　　・緊急連絡先

　　・意思疎通の方法

・在宅人工呼吸療法の設定

　　・在宅酸素療法の設定等

　　・吸引

　　・経管栄養

　　・在宅中心静脈栄養（IVH）

　　・インスリン注射

　　・間欠導尿

　　・留置カテーテル

　　・腎ろう、膀胱ろう

　　・ストマ管理

　　・腹膜透析

　　・血液透析

　　・その他

　　・関係機関への情報提供の有無